

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和8年5月15日
事業者名:	小野電産業株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	先を見据えた設備工事を行い、設備の長期利用促進に努める リサイクルトナーや資材の再利用など3Rに対する取り組みを実施 エコアクション21への取り組み 有害物質の管理徹底		⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに、⑫つくる責任 つかう責任、⑬気候変動に具体的な対策を	R7年度に省エネルギーである照明器具や空調機器を使用した設備工事を行い、エネルギー10%減（R6年度比） 会社で使用するプリンタートナーを全てリサイクルトナーを使用している 有害物質が発生するおそれのある作業が発生する作業所に備えて、施工担当者が各種講習を受けた後に現場へ従事させることを管理徹底している。	指標	二酸化炭素の排出量
					目標	R10年度までにR6年度比20%以上の削減を達成
社会	インターンシップの機会を利用し設備業界への相互理解を深める 西濃地域を中心とした人材採用等地域社会の雇用創出への貢献 地元施設・病院・学校等への寄付・ボランティア活動 キッズ向け職場体験や各種イベントへの参加		③すべての人に健康と福祉を、④質の高い教育をみんなに、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	R4年度からR7年度までに小学校1校のエアコンフィルター清掃ボランティア活動を継続的に実施 合同企業説明会に定期的に参加し、雇用促進のための活動を続けている。 病院へ車椅子を定期的に寄付している。	指標	西濃地域を中心とした雇用採用数
					目標	R10年度までに3人受入
経済	若手プロジェクト「安全企画推進部」を設置し、従業員向け勉強会を実施 資格取得支援の実施 有給休暇制度に関する周知徹底と取得推奨 柔軟な勤務体系による永年勤続の奨励		④質の高い教育をみんなに、⑤ジェンダー平等を実現しよう、⑧働きがいも経済成長も	R5年度より安全企画推進部による安全パトロール、施工現場巡回の実施によって、R4年度比より20%ヒヤリハット等の軽微なトラブルが削減した。 R7年度にて、資格合格までの費用助成により、国家資格である1級施工管理技士の数がR4年度比より20%増加した。 R7年度にて、有給休暇取得率が職員全体でR4年度比より30%増加した。	指標	資格取得支援件数
					目標	R10年度までに2名以上の資格取得支援を行う。
ガバナンス	チェック					
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 ＜具体的な内容を記載＞ SDGsの達成に向けた取り組み内容を掲示して共有している。 各セクションごとに担当部署があり、達成に向けた度合いを半期に1度確認している。 月次定例会議にて、達成度合いの進捗を見て改善策を都度検討している。				
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 令和4年6月1日より、SDGsの達成に向けた取り組みを宣言している				